

中央図書館 と あなたをつなぐ広報誌

ざ・ちゅうおうぷれす

vol.
116

特集

本屋と図書館 -本との出会いの場をつくる仲間たちのこれから-



アイデアシェア企画

ひとことアンケート

編集部から

中央図書館のこのごろ

世田谷区立中央図書館

フロア別おすすめ新着図書

本屋さんが
図書館で
借りたい1冊

『出版年鑑』
出版ニュース社

保存庫からも本が借りられると聞いて
自分の生まれ年の『出版年鑑』を
選んでみました。

(BOOKSHOP TRAVELLER 和氣正幸さん)

まちの本屋さんとはじまる新企画！

本屋と図書館

「本との出会いの場をつくる仲間たちのこれから」

図書館のこともっと知りたい！

図書館も本屋さんも、皆さんが本と出合える場になりたい。そんな想いから、今号より世田谷区内の本屋さんを力をお借りし「本屋さん図書館で借りたい一冊」がはじまりました。第一弾では特別に祖師谷で書店を経営されている和氣正幸さん（写真中央）にお越しいただき、図書館と本屋のこれからについて対談しました。

借りたい一冊は生まれた年代の本

吉田 今日、中央図書館をめぐってみたいかがでたか？

和氣 実は図書館員の方に図書館を案内していただいたのは初めてだったので、新鮮でした。特に普段は入れない保存庫はすごくワクワクして。本屋さんでやっぱり新刊を扱うことが多いので、保存庫では本の種類の深さを感じました。いち本好きとして面白かったです！

沖野 そう言っていただけで良かったです。世田谷区の図書館で最後の1冊になった本はこの保存庫で保存しているの、古い本がたくさんあるんですね。

吉田 そして今回、和氣さんが借りた一本として選んだ本は……

和氣 はい。保存庫の本も借りられると聞いて、保存庫の本で、かつ図書館ならではの本書を選びたいと思いました。なので、書誌学（本について研究する学問）系の本棚をご案内いただいて、自分の生まれ年の出版年鑑を選んでみました。

ライターの仕事には欠かせない資料ばかりですね

本の他に週刊誌の保管もありますよ！

長く残って欲しい本は……

吉田 図書館に「こんな本を置いてほしい」というものはありますか。

和氣 普段から頻繁に図書館を使うタイプではないんですけど、調べものをするときには利用しますね。やっぱり図書館に求めるのはアーカイブ性かなと思っていて。人文書や区史など、そういう資料は図書館にきちんと保存されていますよね。ノンフィクションを読んでいると「〇〇史より」といった引用が出てきて、その元資料も図書館にはあるんだろな、と思ったりします。そういうものは、これからも残してほしいなと思います。

吉田 たしかに、図書館ならではの

和氣さんのご著書は図書館でも借りられます

吉田 地域の図書館に、期待していることなどあれば教えてください。

和氣 図書館で新しく入った本や、予約が多い本の情報を教えてもらえたり、書店とお互いに情報を共有できたりいいなと思います。予約の多い本は書店でも目立つように置いたり、同じテーマを深掘りできる本を並べることで、本との新しい出会いにつながると思うんです。

沖野 図書館と書店のサービスの連携について、各地でさまざまな工夫が検討されているようです。そうした取り組みが広がることで、本との新しい出会いが生まれるかもしれませんね。

和氣 今は図書館と書店で分かれてしまっているけど、「本のおもしろさや出会いを広げたい」という同じ目標があると思うので、情報を共有して、来たる人に本をご案内できたらいいなと思います。

沖野 まちの本屋と図書館が行き来する循環が生まれるといいですね。そうした工夫から、図書館と書店それぞれの役割も見えてきそうですよね。

『日本の小さな本屋さん』エクスナレッジ
『続日本の小さな本屋さん』エクスナレッジ
『改訂新版 東京 わざわざ行きたい 街の本屋さん』G.B.

編集 ざ・ちゅうおうぶれす編集担当
沖野（左）、吉田（右）
撮影 ともまつりか（platform3）

借りたい一冊を吟味中……

和氣 本屋と図書館の共通点として、「読者との接点」があると思っています。公共と商業のすみわけはありつつ、一緒にやれることがあったら面白いとすごく思います。今後、もしかしら出版分野は50:50の比重が大きくなるかもしれないけど、本が好きな同士が集まる場所のようなものだったり、新しい読者の方がリアルな本と出会うような場所を、書店や図書館が提供していけたらいいなと思います。

沖野 たしかに図書館でも、本だけでなく「体験」や、居場所としての役割も大切にしていきたいと考えています。

和氣 イベントのチラシを置き合ったり、先ほども言った情報の共有など、まずは小さなことからでも一緒にできたらいいですね。同じ方向を向いている本屋と図書館で、少しずつでもつながっていったらと思います。

BOOKSHOP TRAVELLER

和氣正幸さん

本屋ライター。会社勤めの傍、2010年から小さな本屋の魅力を伝える活動を続け、現在は世田谷区祖師谷で書店も営む。

THE SETAGAYA CENTRAL LIBRARY PRESS 連載

中央図書館の このごろ

図書館内の特別整理を行いました

中央図書館では、さらに快適にご利用いただけるよう、5月13日〜18日に特別整理を行いました。これは、スーパーマーケットの「棚おろし」のような作業で、本をいったん棚から出し点検したり、棚や本を掃除したりレイアウトを見直したりしています。普段はなかなか手が届かないところまで確認し、より利用しやすい環境となるよう整えました。

あわせて館内の配置も見直し、インターネット閲覧席を移設しました。さらに、中高生世代優先閲覧席の近くに「中高生の進路の本」の棚を新しく設けました。進学や将来のことを考えるときに、ふらっと立ち寄れる場所になっています。

これからも、みなさんにとって身近で使いやすい図書館を目指していきます。



開館情報
イベントのお知らせは
ウェブサイトへ

本屋さんが
図書館で
借りたい1冊

表紙の本を選んでいただいた
和氣正幸さんのお店はこちら

「BOOKSHOP TRAVELLER」

住 東京都世田谷区祖師谷 1-9-14

営 月・木〜日 12時〜19時

休 火・水

HP traveller.bookshop-lover.com/



ひとことアンケート

図書館を利用するみなさんから、図書館や本にまつわる面白くて楽しいアイデアや希望を募集する企画、「ひとことアンケート」。素敵なアイデアが届きました。

Q. A.

この夏、あなたが読みたい本は？

『銀河鉄道の夜』（宮沢賢治）

夏の夜に読み返したい。(P.N. ほし)

『ラガーにゃん』（そにしけんじ）

お気に入りだし登場人物がかわいいから。(P.N. JOTP)

新書を1週間で5冊読む。

少しでも賢くなりたいから。(P.N. アエスタス)

『雪の練習生』（多和田葉子）

読みかけたまま何度か挫折している小説。
あえて冬ではなく夏に読みたい。(P.N. ボーラーベア)

宇宙の本を読んで、行った気になる。

(P.N. アウグストゥス)

『アンソージャル ディスタンス』（金原ひとみ）

SNS でおすすめされていて気になったから。(P.N. 餅)

児童書 & 佐々木常夫さんの本を読みまくる

昨年から今年に出された児童書が読みたい。(P.N. ふじお)

『うたたねの地図 -百年の夏休み-』（岡野大嗣）

夏のカケラを集めたような短歌集です。
夏に読みたいくなります！(P.N. トキ)

『四畳半タイムマシンブルース』（森見登美彦・上田誠）

夏の話なのでジリジリ暑い日に読みたい。(P.N. すいか)



次回のひとことアンケートもお楽しみに！ホームページで募集予定です



〈編集後記〉

曝書（ばくしょ）という言葉を知っていますか。昔、本の保存のために、日光や風にさらしていた伝統的な方法のことをそう呼びます。図書館で働きはじめて知ったのですが、現代では、図書館で1年に1度行う大規模な蔵書点検（特別整理）を曝書と呼んでいます。昔も今も、先人が記してきた歴史や物語を後世に残そうとする思いが受け継がれているのだと、言葉の残り方から感じました。同じ思いを持つ書店の方々とも関わりながら、図書館として、本を未来につなげられたらと思います。(N.Y.)

世田谷区立中央図書館

フロア別

おすすめ新着図書

NEW ARRIVAL BOOK RECOMMENDATIONS

B1F

人文・社会科学
フロア

階段

自然科学フロア

1F

ポピュラーフロア

階段

こども
フロア

出入口

世田谷区立中央図書館フロアマップ

B1F 人文・社会科学フロア - ビジネス

『失敗マップのすすめ—2つの質問に答えるだけで「ミスしない・させない」を仕組み化できる新ツール—』
著：飯野謙次
日経BP



「また失敗しちゃった…」
というあなた、この本で
再発防止策を学んでみま
せんか？

1F ポピュラーフロア - 小説

『青青といく』
著：永井紗耶子
KADOKAWA



「自由自在」。亡き師の
教えを胸に、自らの道を
探す旅が始まる。

B1F 人文・社会科学フロア - 歴史

『日本地図でよくわかる！
名字と家紋—あなたのルーツをひ
も解く—』
監修：高澤等
ポエロ研究所



名字と家紋の謎が
よく分かる！都道府県別
の名字の特徴も知れる！

1F ポピュラーフロア - 料理

『大原千鶴の
すやすやレシピ』
著：大原千鶴
世界文化社



「眠り」のための
体をいたわるレシピ集。

B1F 自然科学フロア - 物理

『家電は物理学である』
著：横川淳
ベレ出版



なぜ、ゆで卵は電子レンジ
で爆発するの？物理学で
すっきりわかります。

1F こどもフロア - 児童書

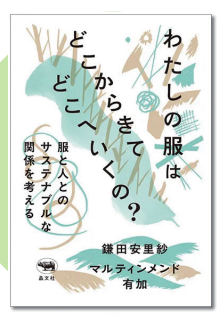
『イチからつくる蚊とり線香』
編：湯澤規子、飯尾裕光
絵：赤池佳江子
農山漁村文化協会



世界の蚊の事情や蚊とり線
香：歴史や作り方を
学べる1冊です。

B1F 自然科学フロア - ファッション産業

『わたしの服はどこからきてどこへい
くの？—服と人とのサステナブルな
関係を考える—』
著：鎌田安里紗、
マルティン・メンド・有加
晶文社



毎日着ている服と
サステナブルについて
知ってみたい。

1F こどもフロア - 絵本

『へびのせんせいとごん
かんごしさん』
ぶん：穂高順也
え：荒井良二
ブルオンズ新社



へびの看護師さんと、さるの
先生が入れ替わり、どうぶつ
村の病院が大変なことに！